

令和3年度 事業報告

1. 事業の概要

令和3年度、我が国の経済は、令和元年度末から続く新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の長期にわたる蔓延により、年度を通じて経済社会活動に甚大な影響を受け、健康不安もあいまって厳しい状況となりました。そして、有効求人倍率の令和3年平均については、大きな下げ幅となった令和2年をさらに下回る3年連続の低下となり、また、令和3年平均の完全失業率についても改善せず令和2年と同率を推移する状況となりました。さらに、欧米の需要拡大などにより、原油をはじめ食品等の物価上昇が顕著となり懸念も示されたところです。

このような中、昭和57年に創立された公益社団法人高槻市シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、会員の登録者数も既に延べ1万人を超え、「生涯現役社会」の構築が求められる中、生きがいの充実や社会参加を目標としつつ、会員及び市民の皆様の安全確保と感染症拡大防止を意識した事業運営に努める年度となりました。

国（総務省）の労働力調査では、令和3年の全就業者数は前年比で減少したが、65歳以上の就業者数は増加したとされています。また、70歳まで働けるようにする「改正高年齢者雇用安定法」が令和3年4月に施行され、「生涯現役社会」構築に向けた取組が推し進められました。しかし、感染症の蔓延によりセンターの会員数は減少に歯止めがかからない状況が続き、全国シルバー人材センター事業協会が策定した「会員100万人達成計画」と連携した「会員数の拡大」が、今まで以上に喫緊の課題となっています。

このような状況を踏まえ、感染症拡大防止に努める中で、会員数拡大については、高槻市広報誌への折込チラシ全戸配布やパンフレットの個別配布のほか、「会員1人紹介活動キャンペーン」を通年で実施するとともに、大阪府シルバー人材センター協議会の新聞・テレビ・ラジオなどによる啓発活動と連携し、可能な限り入会説明会を実施するなど、会員獲得に向けた取組を進めました。しかし、会員数は大きく減少した令和2年度末からさらに減少し、厳しい状況が続いています。

また、より多くの会員に就業いただけるよう、最新の就業情報のホームページ掲載、就業機会創出員による企業や一般家庭への就業開拓活動や、「介護予防」などといった、いわゆる人手不足分野の事業所をターゲットにするなど、就業機会の獲得にも努めましたが、感染症蔓延の長期化により落ち込んだ受注は、目に見えるような回復を図ることができませんでした。

この結果として、全般的な受注契約状況においては、感染症の影響による受注減が継続し、契約金額については、大幅に減少した令和2年度からさらに減少することとなりました。

次に安全対策ですが、「安全は全てに優先する」を基本に、会員の安全意識の向上と就業による事故を未然に防止するとともに、安全かつ適正な就業の徹底を図るために、「安全就業基準」の改正及び「就業事故等取扱基準」の制定等、事故削減に向けて安全就業にかかるルール及び仕組み作りに取り組みました。

また、独自事業として、リサイクル養土「たかちゃん」の販売を行い、センターのPRや森林資源の再利用の普及に取り組みましたが、令和3年度で提供者の生産が終了となりました。

そして、第三次中期計画については、令和3年度が原計画の中間年に当たることから、中期計画策定（中間検証）委員会により中間検証を実施し、今後のセンターの中後期三か年の方向性を示したところです。

今日、求められている新しい役割とこれまでセンターに期待されてきた役割をバランスよく整合させ、感染症対策に努め、社会情勢の変化を見据えながら、会員の「生きがい」と「地域のニーズ」を的確に結ぶことを目標に据え、会員・役員と事務局職員が連携をこれまで以上に密にし、より一層、地域社会に貢献できるセンターとなるよう努めてまいります。

令和3年度における取組実績等は次のとおりです。

項目	令和3年度	令和2年度	増減
会員数	1,027人	1,048人	△21人
就業実人員数	855人	888人	△33人
年間就業率	83.3%	84.7%	△1.4%
受注契約件数	4,918件	5,377件	△459件
契約金額	43,988万円	48,340万円	△4,352万円

以上が令和3年度の事業概要の報告ですが、各事業の実施報告の詳細は、次のとおりです。

2. 事業実施報告

(1) 会員数の拡大と会員の意識向上

① 会員の意識の把握

- ・職群班会議や各専門部会、委員会での意見やセンター窓口、就業現場等での会員の生の声を聴き、会員の意識を把握することに努めました。

② 女性会員の拡大

- ・全国シルバー人材センター事業協会と連携し、女性活躍促進に向けたシルボンヌマークやポスター（「シルボンヌ」は「シルバー」とフランス語の「ボンヌ」（お手伝い・親切の意味）を合わせた造語）を活用し、女性会員の増加に努めました。

③ 情報発信

- ・「会報」、「事務局だより」、「安全就業通信」、「ホームページ」などによ

り、センターの情報提供に努めました。

- ・当センター初となる高槻市広報誌への折込チラシ市内全戸配布をはじめ、市営バスへのポスター掲示や、役員や就業機会創出員の地域におけるチラシ配布によって、会員募集やセンターのPRに努めました。

④ 会員の意識改革

- ・センターの会員であることの意識づけの一つとして、センターのロゴ入りジャンパーやベストを会員に貸与していますが、引き続き就業先の了解を得て、就業時に着用するよう努めました。

⑤ 高齢者活躍人材確保育成事業との連携

- ・入会に繋がる技能講習やセミナー等を実施する「高齢者活躍人材確保育成事業」については、大阪府シルバー人材センター協議会と連携を図り、会員数の拡大に努めました。

⑥ 入会説明会の参加人数の確保

- ・感染症拡大防止のため、5月の入会説明会は開催中止としましたが、それ以外については定員を削減しつつ、開催回数を増加させることにより、広報啓発活動による説明会参加者数の増加に努めました。

(2) 就業機会の開拓、拡大及び提供

① 企業や個人家庭への訪問等

- ・事務局職員が取引事業者を訪問した時や、就業機会創出員が企業や個人家庭を訪問する中で、チラシやパンフレットの配布によりセンター事業のPRに努めました。「介護予防」や「子育て支援」などといった人手不足業種をターゲットにすることなどにより、就業機会の拡大に努めました。
- ・高槻市広報誌への啓発折込チラシの市内全戸配布により、受注開拓に努めました。

② 独自事業の継続及び検討

- ・独自事業であるリサイクル養土「たかちゃん」販売については、2,995袋を完売しましたが、令和3年度で提供者の生産が終了となるものです。

③ 地域に密着した業務の推進

- ・高槻市から事業所指定を受け参入した「介護予防・日常生活支援総合事業」の相乗効果として、現在行っている地域密着型業務（簡単な営繕等、一般家庭での仕事）の受注拡大に努めました。
- ・空き家管理事業について関係機関と協議を行いました。

④ 調査研究

- ・高齢者にふさわしい仕事が創出できないかを他市シルバー人材センターの状況や地域ニーズ等を踏まえ、創出員会議において検討しました。
- ・公益法人の認定事業である調査研究事業について関係機関と協議を開始しました。

⑤ 就業相談の充実

- ・毎月第3・第4木曜日に開催している就業相談では、延べ32人の相談に応じました。

(3) 事業運営の安定

① 事務費率

- ・事務費については、安定的な確保に努めました。

② 補助金の確保

- ・補助金については、高齢化社会におけるセンターの社会的役割について、引き続き、国及び高槻市に理解を求め、所要の支援を受けました。

③ 消費税のインボイス制度への対応

- ・インボイス制度の導入に適切に対応するため、大阪府シルバー人材センター協議会インボイス制度検討委員会において課題について検討を開始しました。

(4) 普及啓発事業の推進

① フェスティバルの開催

- ・感染症拡大防止のため、高槻市で開催予定であった北部ブロック市町合同のフェスティバルは中止となりましたが、北部ブロック市町合同で啓発のための「車両ホイールキャップ」を製作し、センターのPRに努めました。

② 各種イベントへの参加

- ・感染症拡大防止のため、高槻市関連の多数のイベントが開催中止となりましたが、「秋季環境美化推進デー清掃奉仕活動」に参加し、センターのPRに努めました。

③ ホームページ及びポスター等による情報発信

- ・ホームページ、高槻市営バス内へのポスター掲示、高槻市広報誌への折込チラシのほか、ケーブルテレビ番組など様々な媒体を活用し、センターのPRに努めました。

④ 会員への情報提供

- ・会員とセンターとの共通認識を深めるため、年2回の「会報」及び年3回の「事務局だより」をはじめ、適時「安全就業通信」を発行するとともに、ホームページに最新の情報を掲示し、会員への情報提供に努めました。

⑤ 就業機会創出員によるPR

- ・就業機会創出員は、企業や事業所等を訪問し、就業機会の拡大に繋げていますが、個人家庭へもパンフレットの配布により、センターのPRに努めました。

(5) 技能の向上を図る講習会などの実施

① 講習会の実施

- ・発注者のニーズに応えるため、就業に必要な技能を習得するための草刈機械及び植木剪定講習会を開催し、会員の知識や技能の向上と後継者の育成に努めました。講習会では、座学で理論と安全を学んだ後、実技に入るなど、より実践的な人材育成となるよう、内容の充実を図りました。

② 「高齢者活躍人材確保育成事業」との連携

- ・高齢者活躍人材確保育成事業との連携により、技能講習やセミナー受講者を円滑にセンター入会へと繋げました。

(6) 安全・適正就業の推進

① 安全管理体制の活用

- ・さらなる安全就業の推進を図るため、安全部会及び安全就業委員会ならびに事業部会及び適正就業委員会とが連携し、「安全就業基準」を改正するとともに、新たに「就業事故等取扱基準」を制定し、安全適正就業推進員及び補助員による「安全適正就業パトロール」実施体制を整備しました。

② 事故防止措置の徹底

- ・機械刈り除草及び剪定業務への就業希望者等に対し、7月及び9月に草刈機械講習会、2月に剪定講習会をそれぞれ開催し、安全意識の高揚と就業事故の防止に努めました。
- ・「改正安全就業基準」及び「就業事故等取扱基準」の会員への周知のため、説明会を2月～3月に実施し、安全意識の向上と事故防止措置の徹底を図りました。

③ 安全意識の普及と啓発

- ・「安全就業通信」を適時発行し、事故情報の提供や安全就業委員会の取組などを伝える中で、会員の安全就業に対する意識の啓発に努めました。
- ・7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、全会員への啓発に努めました。

④ 健康管理意識の高揚

- ・適時発行の「安全就業通信」で「年1回の健康診断受診」を呼びかけるとともに、センター1階に設置している「健康情報」の配架棚にチラシ等を置き、情報提供の充実に努めました。
- ・感染症拡大防止対策の徹底を図るため、「事務局だより」や「周知事項」のお便りをはじめ掲示板等を活用するなど、注意喚起や情報提供に努めました。

⑤ 適正就業の推進

- ・「適正就業ガイドライン」を引き続き啓発するため、事業部会及び適正就業委員会と連携を図りながら、1階の掲示板に「ガイドライン」を掲示し、ローテーション就業やワークシェアリングと同様、会員に周知を図りました。

(7) 組織体制の整備、強化及び活性化

① 専門部会の充実

・総務部会

事業年度計画の策定、予算の適切な執行、諸規定の整備など事業全般の管理及び運営の推進に努めました。

・事業部会

厳しい経済情勢の中、受託業務内容の分析と拡大への検討を行うとともに、

適正就業の推進にも取り組みました。また、独自事業として、リサイクル養土「たかちゃん」を販売しました。

・安全部会

「安全・適正就業強化月間」の取組、「安全就業通信」の発行など、安全就業の推進に向けて取組を行いました。

・広報部会

年2回の会報の発行などを行い、普及啓発に努めました。

② 地域班活動や職群班活動の活性化

・地域班会議は、感染症蔓延のため、14地域全てで開催を自粛することとなりました。

・「事務局だより」などの各種印刷物を会員へ配付しました。

(8) 労働者派遣事業及び有料職業紹介事業の推進

① 労働者派遣事業の推進

・労働者派遣事業については、大阪府シルバー人材センター協議会と連携し、民間27件を実施しました。

・就業実人員	24人	・就業延人員	2,515人
・会員賃金	10,507,343円	・手数料等	2,978,442円

② 有料職業紹介事業の検討

・令和3年度は、実績がありませんでした。

(9) 事務局体制の整備

① 職員の自己啓発

・公益社団法人の職員としての自覚を持ち、職務に精励できるよう、全国シルバー人材センター事業協会、大阪府シルバー人材センター協議会、全国公益法人協会の主催する研修に参加しました。

② 職員間の連携

・大阪府シルバー人材センター協議会北部ブロックを中心に、職員間の交流を図りました。

③ 会員との意思疎通の推進

・職員が会員の就業先に巡回した時や、窓口での対応、就業相談（月2回）など、会員と接する機会の中で、意見交換等に努め、意思疎通を図りました。

④ 新型コロナウイルス感染拡大防止

・大阪府の要請を踏まえた高槻市の対応方針に従い、適切な感染拡大防止対策を実施しました。

(10) 事故発生状況

① 傷害事故 (前年度: 13件)

- ア 就業中 4件 (転倒 3件: 虫刺傷 1件)
イ 就業途上 4件 (転倒 2件: はさまれ 1件: 交通事故: 1件)

② 賠償事故 (前年度: 11件)

- ア 就業中 5件 (損壊 2件: 切断 2件: 盗難 1件)

(11) 会議等の開催状況

① 定時総会・監査

会議	開催日	主な内容
定時総会	令和3年6月11日	・令和2年度事業報告について ・令和2年度収支決算報告並びに監査報告について ・定款の一部改正について ・理事長に対する権限委任について ・理事の選任について ・監事の選任について ・令和3年度事業計画について ・令和3年度収支予算について
監査	令和3年4月20日	・令和2年度事業監査・会計監査について
中間監査	令和3年11月10日	・令和3年度事業中間監査・会計中間監査について

② 理事会

会議	開催日	主な内容
第1回	令和3年5月12日	・事務局長の任用について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度収支決算報告並びに監査報告について ・臨時職員就業要綱の一部改正について ・(公社)大阪府シルバー人材センター協議会シルバー派遣事業派遣労働会員就業規則の一部改正について ・定款の一部改正について ・役員候補者について ・表彰状の贈呈について ・令和3年度定時総会について
第2回	令和3年6月11日	・理事長の選定について ・副理事長の選定について ・常務理事の選定について

会 議	開 催 日	主 な 内 容
第 3 回	令和 3 年 10 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> ・安全就業委員会設置規程の一部改正について ・安全就業基準の一部改正について ・就業基準（内規）の一部改正について ・職員就業規程の一部改正について ・臨時職員就業要綱の一部改正について ・令和 3 年度収支補正予算（第 1 号）について
第 4 回	令和 3 年 11 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度中間決算について ・就業事故等取扱基準の制定について ・就業適正審査会規程の一部改正について ・安全・適正就業推進員補助員設置要綱の一部改正について
第 5 回	令和 4 年 2 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度収支補正予算（第 2 号）について ・令和 4 年度事業計画について ・令和 4 年度収支予算について ・非常勤職員就業要綱の一部改正について ・臨時職員就業要綱の一部改正について ・マネジメントリスクプロテクション保険について

③ 専門部会

種 別	主 な 協 議 内 容
総務部会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度事業報告 ・ 令和 2 年度決算報告 ・ 諸規程等の改正 ・定款の一部改正 ・ 役員候補者 ・ 定時総会 ・令和 3 年度収支補正予算（第 1 号、第 2 号） ・令和 3 年度中間決算 ・令和 4 年度事業計画 ・ 令和 4 年度収支予算 ・マネジメントリスクプロテクション保険について
事業部会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度事業総括 ・ 令和 3 年度のコロナ禍の事業に対する影響 ・事業実績報告 ・ 就業状況 ・ 受注拡大 ・就業に必要な機材、資材の提供検討 ・リサイクル養土「たかちゃん」の販売(緑化フェア(中止)、農林業祭(中止)) ・ 新規就業分野の開拓と検討(空家管理) ・新規独自事業の検討 ・就業基準(内規)の改正(案) ・ 安全就業基準の改正(案) ・就業事故等取扱基準の制定(案)

③ 専門部会

種 別	主 な 協 議 内 容
安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・事故報告 ・安全・適正就業強化月間 ・熱中症対策 ・健康診断の受診 ・安全就業委員と就業会員との懇談会（中止） ・「安全就業通信」発行 ・草刈機械及び植木剪定講習会 ・大シ協安全・適正就業大会 ・交通安全及び健康管理講習会（中止） ・大シ協安全・適正就業推進員会議 ・就業基準（内規）の改正（案） ・安全就業基準の改正（案） ・就業事故等取扱基準の制定（案）
広報部会	<ul style="list-style-type: none"> ・会報発行 ・市広報誌折込啓発チラシ配布

④ 委員会等

種 別	主 な 取 組 み
安全就業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・事故について ・安全・適正就業強化月間 ・「安全就業通信」発行 ・熱中症予防と健康診断受診 ・安全就業委員と就業会員との懇談会（中止） ・交通安全及び健康管理講習会（中止） ・草刈機械及び植木剪定講習会 ・就業基準（内規）の改正（案） ・安全就業基準の改正（案） ・就業事故等取扱基準の制定（案）
適正就業委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・就業基準（内規）の改正（案） ・安全就業基準の改正（案） ・就業事故等取扱基準の制定（案）
理事及び監事候補者選考委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事及び監事候補者の選考
会報編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・会報（年2回）の作成、発行
中期計画策定(中間検証)委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・前期二か年間実績の総括 ・中・後期三か年間の検証 ・中間検証結果の確認

(12) 執行体制

役 員	理事長1人	副理事長1人	常務理事1人	理事15人
	監事2人			
事 務 局	事務局長1人	事務局次長1人		
	庶務・経理	主任1人	臨時職員1人	
	業 務	主任1人	非常勤職員5人	臨時職員2人

希望職群別・年齢別会員状況

(令和4年3月31日現在)

(単位：人)

区分 職群	60歳～64歳		65歳～69歳		70歳～74歳		75歳～79歳		80歳以上		合計		職群別 構成率
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
専門技術群	2	1	9	4	24	0	15	0	7	0	57	5	6.0%
技能群	1	0	8	0	22	1	9	0	4	0	44	1	4.4%
事務整理群	3	1	5	5	19	10	6	7	9	4	42	27	6.7%
施設管理群	5	2	32	2	75	2	63	0	32	1	207	7	20.8%
折衝外交群	0	0	1	4	6	5	3	7	1	1	11	17	2.8%
軽作業群	8	10	63	32	143	92	108	52	33	15	355	201	54.1%
サービス群	0	3	2	7	7	16	2	15	1	0	12	41	5.2%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	19	17	120	54	296	126	206	81	87	21	728	299	100%
年齢別構成率	3.5%		16.9%		41.1%		28.0%		10.5%		100%		

男女合計 1,027人

会員入退会状況

(単位：人)

月別	区分 性別	入 会			退 会			会 員 数		
		男	女	合 計	男	女	合 計	男	女	合 計
4 月		20	13	33	18	3	21	748	312	1,060
5 月		0	0	0	15	5	20	733	307	1,040
6 月		12	7	19	16	5	21	729	309	1,038
7 月		9	1	10	1	2	3	737	308	1,045
8 月		10	4	14	2	0	2	745	312	1,057
9 月		12	6	18	6	2	8	751	316	1,067
10 月		16	11	27	7	8	15	760	319	1,079
11 月		13	8	21	1	2	3	772	325	1,097
12 月		12	7	19	0	0	0	784	332	1,116
1 月		10	5	15	23	15	38	771	322	1,093
2 月		5	1	6	17	6	23	759	317	1,076
3 月		2	0	2	33	18	51	728	299	1,027
合 計		121	63	184	139	66	205			

入会の動機	人 員	構成比	退会の理由	人 員	構成比
生きがい・社会参加	46人	25.0%	病 気 (本 人)	45人	22.0%
仲 間 作 り	2人	1.1%	シルバ-事業を通じて就職	0人	0.0%
時 間 的 余 裕	35人	19.0%	そ の 他 で 就 職	33人	16.1%
健康維持・増進	52人	28.3%	死 亡	9人	4.4%
経 済 的 理 由	49人	26.6%	転 居	2人	1.0%
そ の 他	0人	0.0%	希望する仕事なし	8人	3.9%
合 計	184人	100.0%	就 業 機 会 な し	0人	0.0%
			家庭の事情(介護等)	62人	30.2%
			会 費 未 納	20人	9.7%
			加 齢	26人	12.7%
			他団体等への加入	0人	0.0%
			センター運営に対する不満	0人	0.0%
			そ の 他	0人	0.0%
			合 計	205人	100.0%

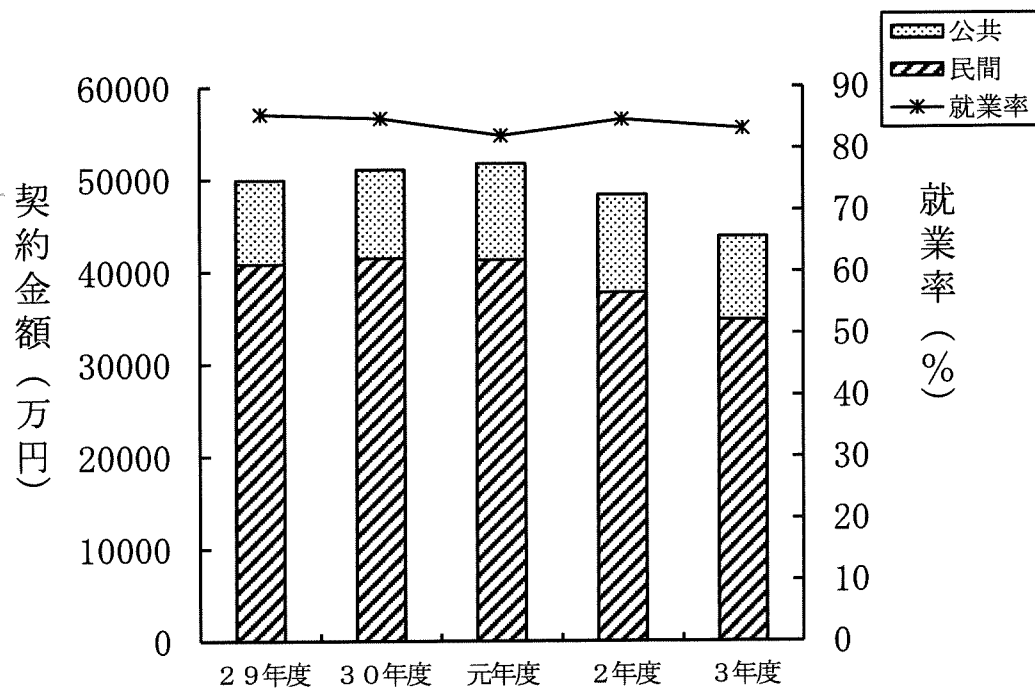
事業実績表

年間就業日数 242 日		就業延時間 (時間)	就業延人員 (人日)	申込件数 (件)	受注件数 (件)	契 約 金 額 (円)				男女別 就業会員(人)	就業実人員 (人)	月間就業率 (%)	
区分 月分	公民別					配 分 金	事 務 費	材 料 費	計				
4 月	公 共	4,759	926	17	17	4,965,135	411,427	105,913	5,482,475	男	457	634	59.8
	民 間	25,525	6,243	373	373	25,423,323	2,026,964	45,962	27,496,249	女	177		
	計	30,284	7,169	390	390	30,388,458	2,438,391	151,875	32,978,724	計	634		
5 月	公 共	4,823	937	5	5	5,225,788	469,029	287,545	5,982,362	男	446	620	59.6
	民 間	24,289	5,859	413	413	24,703,484	1,969,058	104,024	26,776,566	女	174		
	計	29,112	6,796	418	418	29,929,272	2,438,087	391,569	32,758,928	計	620		
6 月	公 共	6,658	1,285	1	1	7,296,520	595,407	949,794	8,841,721	男	472	643	61.9
	民 間	27,930	6,629	481	481	29,060,440	2,317,753	174,514	31,552,707	女	171		
	計	34,588	7,914	482	482	36,356,960	2,913,160	1,124,308	40,394,428	計	643		
7 月	公 共	5,346	1,010	4	4	5,785,003	490,086	397,729	6,672,818	男	484	660	63.2
	民 間	29,244	6,981	449	449	29,831,886	2,376,391	136,945	32,345,222	女	176		
	計	34,590	7,991	453	453	35,616,889	2,866,477	534,674	39,018,040	計	660		
8 月	公 共	6,272	1,205	5	5	6,774,418	550,636	758,752	8,083,806	男	470	641	60.6
	民 間	26,139	6,367	356	356	26,248,626	2,090,893	89,206	28,428,725	女	171		
	計	32,411	7,572	361	361	33,023,044	2,641,529	847,958	36,512,531	計	641		
9 月	公 共	5,761	1,079	3	3	6,175,616	526,529	827,780	7,529,925	男	507	717	67.2
	民 間	27,020	6,714	467	467	27,612,992	2,200,457	189,510	30,002,959	女	210		
	計	32,781	7,793	470	470	33,788,608	2,726,986	1,017,290	37,532,884	計	717		
10 月	公 共	5,872	1,282	2	2	6,524,323	534,962	466,976	7,526,261	男	487	681	63.1
	民 間	29,758	7,089	512	512	31,939,328	2,543,214	431,350	34,913,892	女	194		
	計	35,630	8,371	514	514	38,463,651	3,078,176	898,326	42,440,153	計	681		
11 月	公 共	7,660	1,515	2	2	8,047,546	664,199	1,078,570	9,790,315	男	515	705	64.3
	民 間	28,448	6,821	488	488	30,387,757	2,429,032	236,861	33,053,650	女	190		
	計	36,108	8,336	490	490	38,435,303	3,093,231	1,315,431	42,843,965	計	705		
12 月	公 共	5,572	1,151	2	2	5,927,534	493,839	354,404	6,775,777	男	510	704	63.1
	民 間	26,670	6,564	431	431	28,021,978	2,233,261	153,557	30,408,796	女	194		
	計	32,242	7,715	433	433	33,949,512	2,727,100	507,961	37,184,573	計	704		
1 月	公 共	5,329	1,112	2	2	5,710,059	463,053	1,274,543	7,447,655	男	444	614	56.2
	民 間	21,513	5,429	275	275	21,865,949	1,741,886	44,563	23,652,398	女	170		
	計	26,842	6,541	277	277	27,576,008	2,204,939	1,319,106	31,100,053	計	614		
2 月	公 共	4,820	994	1	1	5,068,926	414,408	574,330	6,057,664	男	447	623	57.9
	民 間	21,161	5,310	306	306	21,734,232	1,727,064	68,949	23,530,245	女	176		
	計	25,981	6,304	307	307	26,803,158	2,141,472	643,279	29,587,909	計	623		
3 月	公 共	4,854	987	2	2	5,177,513	588,414	4,172,565	9,938,492	男	436	609	59.3
	民 間	24,020	6,013	321	321	24,616,810	2,156,384	816,241	27,589,435	女	173		
	計	28,874	7,000	323	323	29,794,323	2,744,798	4,988,806	37,527,927	計	609		
計	公 共	67,726	13,483	46	46	72,678,381	6,201,989	11,248,901	90,129,271	(20.5%)	平均 654	平均 61.4	
	民 間	311,717	76,019	4,872	4,872	321,446,805	25,812,357	2,491,682	349,750,844	(79.5%)			
	計	379,443	89,502	4,918	4,918	394,125,186	32,014,346	13,740,583	439,880,115	(100.0%)			
1ヶ月平均		31,620	7,459	410	410	32,843,766	2,667,862	1,145,049	36,656,676	期間就業 実人員	855	—	
前年度1ヶ月平均		35,299	8,219	448	448	36,078,408	2,922,714	1,282,536	40,283,659	期間就業率	—	83.3	

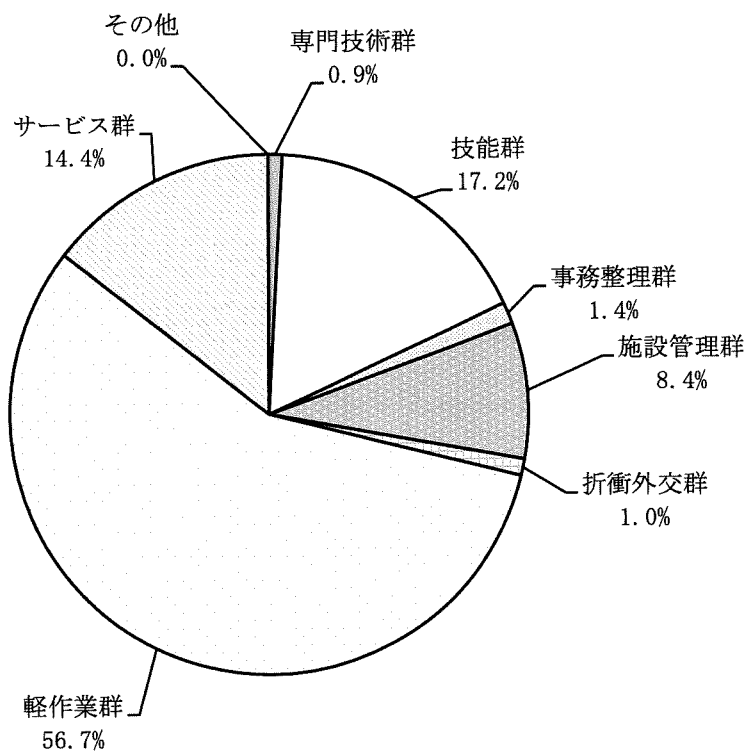
職 群 別 実 績 表

種別 職群別	受 注 件 数		就 業 延 人 員		契 約 金 額	
	(件)	(%)	(人日)	(%)	(円)	(%)
専 門 技 術 群	43	0.9	806	0.9	5,479,370	1.2
技 能 群	844	17.2	2,429	2.7	24,968,170	5.7
事 務 整 理 群	67	1.4	3,172	3.5	14,143,476	3.2
施 設 管 理 群	415	8.4	28,700	32.1	162,767,029	37.0
折 衝 外 交 群	51	1.0	1,808	2.0	9,601,856	2.2
軽 作 業 群	2,788	56.7	46,587	52.1	204,460,629	46.5
サ ー ビ ス 群	710	14.4	6,000	6.7	18,459,585	4.2
そ の 他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	4,918	100	89,502	100	439,880,115	100

年度別契約金額・就業率推移



受注件数比率



附属明細書

事業報告に関する附属明細書に記載すべき重要な事項がないため、省略している。